

病院の実力「脳卒中」

医療機関別2008年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	患者数	脳梗塞		くも膜下出血 (患者数)	脳出血 (患者数)
		t-PA治療 実施数	早期リハビリ 開始率(%)		
平成立石	480	8	78	51	144
東邦大医療セ大橋	517	12	-	20	102
国・災害医療セ	321	28	47	103	180
杏林大	366	41	100	76	161
武蔵野赤十字	314	29	67	75	178
日本医大	332	16	61	57	133
帝京大	400	4	6	50	70
北原脳神経外科	369	13	91	39	88
都立府中	255	11	73	77	134
日大板橋	251	21	100	69	136
南町田	296	8	87	31	111
公立昭和	200	6	100	76	150
国立国際医療セ	220	10	64	68	136
板橋中央総合	286	14	87	27	106
東大和	305	9	100	24	82
N T T 東日本関東	307	26	100	25	74
河北総合	294	7	100	12	79
聖路加国際	209	1	62	57	117
日赤医療セ	243	17	47	36	96
慶応大	225	6	48	28	108
都公社荏原	246	9	85	20	80
牧田総合	194	10	100	25	101
東京女子医大東医療セ	156	8	90	60	92
目白	157	2	-	24	125
東邦大医療セ大森	237	1	19	36	30
順天堂大	218	7	94	20	45
公立阿伎留医療セ	220	16	100	8	44
旗の台脳神経外科	167	1	-	40	42
東京警察	178	3	75	23	45
三宿	144	44	100	25	76
東京労災	156	12	90	13	72
都公社大久保	158	11	67	7	53
東京医大八王子医療セ	125	5	65	30	53
慈恵医大	121	3	32	42	44
日本医大多摩永山	130	7	-	29	35
東京医科歯科大	108	5	31	39	42
江戸川	170	8	95	0	13
虎の門	133	0	-	6	33
都公社豊島	82	3	35	14	59
東京大	96	0	15	22	27
東京女子医大	44	2	86	12	59

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。「-」は未回答または不明

病院の実力

脳卒中リハビリ早めに

日本人の死因でがん、心臓病に次いで多い脳卒中。読売新聞では全国の主な医療機関に対し、2008年1年間の治療実績をアンケートした。地域版では、脳梗塞に対する血栓溶解療法（t-PA治療）の実施数、

早期リハビリテーションを行った割合についても掲載した。

t-PA治療

脳梗塞は、脳の血管に小さな血の塊（血栓）ができ、脳神経細胞に十分な血流が

届かなくなると、手足にしびれなどが表れる。血栓を、発症間もない時期に薬剤で溶かすのがt-PA治療で、2005年10月に認可された。治療を受けた患者の4割が、3か月後にほぼ後遺症がなく、生活に復帰

早期リハビリ開始率

治療後に大事をとって寝たままでいると、かえって

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は7月5日「心臓血管外科」の予定です。

できるとされている。

ただし、発症後の時間がたつと、血栓を溶かした後に脳出血を起こす危険性が高まるため、治療が行えるのは発症後3時間以内の患者に限られる。このため、迅速な搬送態勢の整備が欠かせない。

東京